提供機関：金沢大学

科目名	里海体験実習 in 能登半島 －身近な自然・里海の重要性と問題点を知る－		復習用ビデオの録画・配信 ―	開講期間	
	英文科目名	Field Excursion to Satoumi in Noto Peninsula	テレビ会議システム ―	開講時間	
受講定員等	担当教員	伊藤　浩二　外5名	eラーニング ―	開講場所	
	単位数　1単位 定員数　20名 特別聴講学生等定員 科目等履修生定員 シティカレッジ聴講生定員 定員超過時の選考方法等　抽選			成績評価の方法	ガイダンスと実習への出席が必須です。 実習，討論，レポートを総合判断します。

授業料等	特別聴講学生（大学等に在籍する学生）				科目等履修生（社会人で単位を必要とする者）				シティカレッジ聴講生（社会人で単位を必要としない者）
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：3月1日～3月13日				受講料
					検定料	入学料	授業料	別途負担費用	
				宿泊費等	9,800円	28,200円	14,800円	別途負担費用	5,000円

科目の内容

能能登半島は豊かな自然と伝統文化に恵まれており，2011年6月には，『能登の里山里海』が国連食糧農業機関（FAO）が認定する「世界農業遺産」（Globally Important Agricultural Heritage Systems，GIAHS）に認定されました。しかし，農林水産業の不振，過疎・高齢化の急速な進行によって里山里海が荒廃しつつあり，地域社会の維持すら困難になりつつあります。地域住民，企業，自治体は，能登の豊かな地域資源である「里山里海」を活かし，自然共生・環境配慮型の地域再生をめざしています。

本実習は，1泊2日で能登半島にある金沢大学能登臨海実験施設（能登町），石川県『ふれあい海洋センター（能登町）等を訪問するとともに，各地の漁港，カキ養殖場，定置網の見学，里海地域の民宿，市場の関係者にも話をうかがいます。

これらを通して，(1) 里海に直接触れるとともに，(2) 能登半島の里海の歴史的変遷，現状と問題点，今後の方向性等に関する講義を受け，(3) 参加者，講師，地域の方々が一緒になったディスカッションを行います。

その他特記事項

例年6－7月の間に講義と実習をおこないます。宿泊等にかかる実費が別途必要です（5千円程度）。具体的な日が決まり次第お知らせします。

授業担当教員紹介	URL	http://www.crc.kanazawa-u.ac.jp/meister/
ホームページ・メールアドレス等	E－mail	k-itou@staff.kanazawa-u.ac.jp